

# 地球温暖化対策実施状況報告書

令和元年 7月 31日

（報告先）  
横浜市長

住所 神奈川県横浜市西区南幸1-6-31

氏名 株式会社高島屋横浜店  
執行役員店長 青木 和宏

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

## 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社高島屋 代表取締役社長 村田 善郎				
事業者の主たる 事業所の所在地	大阪府大阪市中央区難波5-1-5				
主たる事業の業種	大分類	I 卸売・小売業			
	中分類	5 6 各種商品小売業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	12,994	kl	自動車の台数	台

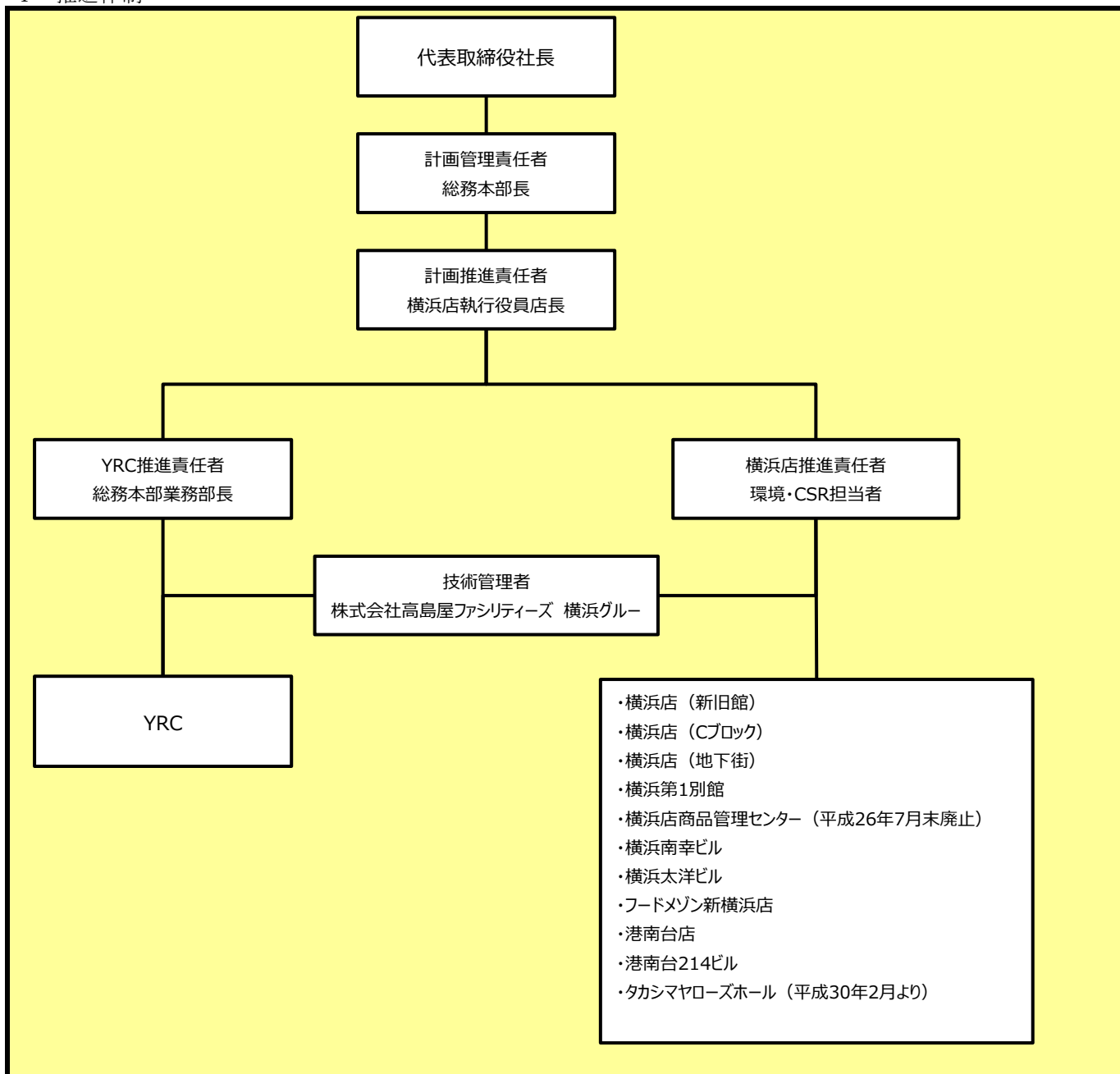
## 2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

## 3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針] 高島屋グループは「高島屋グループ環境理念」に基づいてISO14001環境マネジメントシステムを導入し、環境方針を定めて全従業員参加による環境保全活動を行っています。 又、地球温暖化防止・社会貢献活動にも重点を置き、CO2排出量の削減を図るべく省エネ・廃棄物の削減・3R活動に取り組みます。</p> <p>[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討] ①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 照明設備 ②上記①の設備を選択した理由 横浜店（新旧館・Cブロック）及び港南台店では、空調用熱源が外部から供給されているために空調エネルギー設備は更新対象とならず、当事業所でエネルギー使用率の60%を占める照明設備が更新の対象として適当と判断した。 ③設備更新スケジュール 令和元年度は、横浜店で10,000千円規模のLED照明化工事を計画し、進行中です。</p>
--

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	株式会社高島屋 横浜店 総務部
	所在地	横浜市西区北幸1-5-10 東京建物ビル8階
	閲覧可能時間	10:00～18:00（水・日曜日及び元旦を除く）
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	22,161	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	22,161	t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	21,496	t-CO <sub>2</sub>	削減率	3.0 %	削減率		%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	㈱高島屋が取得しているISO140001マネジメントシステムにおける横浜店の環境目標において、CO2排出量の削減を原単位あたり前年比1%削減を毎年の目標に掲げている。								
事業者全体としての目標等									
第一年度 (2016年度)	排出量	22,790	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 2.8 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	22,584	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 1.9 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	①冬季の顧客サービスとしてエアカーテン使用による蒸気の使用量増 ②港南台店では、大型のテナントを誘致し、そのため空調機の運転時間の拡大・照明節電箇所 の復旧・点灯を実施したため増加。 といった営業施策上のエネルギー使用量増要因が起因。								
第二年度 (2017年度)	排出量	22,168	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 0.0 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	21,751	t-CO <sub>2</sub>	削減率	1.9 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	①横浜店では顧客サービスに伴うエアカーテン使用による蒸気の使用量増、営業時間外作業など 売場要請による空調稼働時間延長による冷水の使用量増。 ②港南台店はテナントとの運営体制の調整により照明点灯・空調運転時間を削減。 ③2018年2月1日より新規事業所としてタカシマヤローズホールが追加。								
第三年度 (2018年度)	排出量	23,046	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 4.0 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	22,378	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 1.0 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	①横浜店（新旧館）では、顧客サービスに伴うエアカーテン使用や、個別空調の運転時間延長 など 売場要請による空調稼働時間延長の為、電力及び冷水の使用量が増となった。 ②横浜店（Cブロック）では、エスカレーター運転時間の延長や、営業時間外作業など売場要請 による空調稼働時間延長の為、電力の使用量が増となった。 ③港南台店は客食数が増えたことに伴い、厨房ガス使用量が増加した。								
計画期間全体の排出状況に関する説明	業種が小売業（商業ビル）であるので、お客様のご要望に応えつつ、省エネに取り組んで います。 各テナントの協力も得て、従業員用の照明点灯や空調稼働時間は可能な限りの削減をして いますが、今後も毎日のチェックと定期的な見直しを継続します。 又、近年の猛暑やインバウンド効果による入店お客様数の増加が、空調その他エネルギー 使用量を増やす原因となり得たと考えます。								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
3,000k l 以上	1	11,493	1	11,807	1	11,300	2	17,328
1,500k l 以上 3,000k l 未満	2	8,183	2	8,617	2	8,477	1	3,370
500k l 以上 1,500k l 未満	1	953	1	984	1	947	1	905
500k l 未満	6	1,532	6	1,382	7	1,444	7	1,443
合計	10	22,161	10	22,790	11	22,168	11	23,046

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度								
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	
第1号及び第2号該当事業者	1 推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	10/10	—	年度			実施済	11/11	—	年度			実施済	11/11	—	年度		
	2 主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	10/10	—	年度			実施済	11/11	—	年度			実施済	11/11	—	年度		
	3 機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	10/10	—	年度			実施済	11/11	—	年度			実施済	11/11	—	年度		
	4 照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	10/10	—	年度			実施済	11/11	—	年度			実施済	11/11	—	年度		
	5 エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	4/4	—	年度		自社で管理できる物件については実施済	実施済	4/4	—	年度		自社で管理できる物件については実施済	実施済	4/4	—	年度		自社で管理できる物件については実施済
	6 各種図面の整備	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	該当設備はありません		非該当	/	—	年度	該当設備はありません		非該当	/	—	年度	該当設備はありません	
	7 外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	8 フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	9 ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	10 変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	11 室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	4/4	—	年度			実施済	4/4	—	年度			実施済	4/4	—	年度		
	12 地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	該当設備はありません		非該当	/	—	年度	該当設備はありません		非該当	/	—	年度	該当設備はありません	
	13 照明設備の高効率化	事業所	実施済	実施済	4/4	—	年度			実施済	5/5	—	年度			実施済	5/5	—	年度		
	14 事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	10/10	—	年度			実施済	11/11	—	年度			実施済	11/11	—	年度		
	15 機器性能管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 冷温水発生器 1/1	—	年度			実施済	(設備の種類) 冷温水発生器 1/1	—	年度			実施済	(設備の種類) 冷温水発生器 1/1	—	年度		
	16 冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 冷温水発生器 1/1	—	年度			実施済	(設備の種類) 冷温水発生器 1/1	—	年度			実施済	(設備の種類) 冷温水発生器 1/1	—	年度		
	17 燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備はありません		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備はありません		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備はありません	
	18 排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備はありません		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備はありません		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備はありません	
	19 蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施済	非該当	(設備の種類) /	—	年度	熱源エネルギーは外部より供給を受けているため、該当設備はありません		非該当	(設備の種類) /	—	年度	熱源エネルギーは外部より供給を受けているため、該当設備はありません		非該当	(設備の種類) /	—	年度	熱源エネルギーは外部より供給を受けているため、該当設備はありません	
	20 工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備はありません		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備はありません		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備はありません	
	21 コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備はありません		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備はありません		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備はありません	
	22 コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備はありません		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備はありません		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備はありません	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度								
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	
第3号該当事業者	23 推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度
	24 自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度
	25 エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度
	26 エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度
	27 自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。  
 ・燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。  
 ・記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		1.19 %		23,046		445.9		171.3		275					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	・LED照明へ転換 (年間で664灯をLED化)	横浜店	2015	セラミックメタルハライドランプ 664灯	昼間買電	278,165	k Wh	142.4	LED器具に更新	昼間買電	105,693	k Wh	54.1	88.3	16,735 千円
2	・LED照明へ転換 (年間で67灯をLED化)	港南台	2015	セラミックメタルハライドランプ 55灯 蛍光灯 12灯	昼間買電	37,870	k Wh	19.4	LED器具に更新	昼間買電	16,809	k Wh	8.6	10.8	2,231 千円
3	・LED照明へ転換 (年間で800灯をLED化)	横浜店	2015	ハロゲン電球 435灯 水銀灯 109灯 蛍光灯 256灯	昼間買電	143,044	k Wh	73.2	LED器具に更新	昼間買電	64,759	k Wh	33.2	40.1	22,686 千円
4	LED照明へ転換 (年間で392灯をLED化)	横浜店	2017	蛍光灯 392灯	昼間買電	43,920	k Wh	22.5	LED器具に更新	昼間買電	27,720	k Wh	14.2	8.3	8,839 千円
5	LED照明へ転換 (年間で250灯をLED化)	横浜店	2017	セラミックメタルハライドランプ 250灯	昼間買電	117,360	k Wh	60.1	LED器具に更新	昼間買電	15,480	k Wh	7.9	52.2	10,460 千円
6	LED照明へ転換 (年間で158灯をLED化)	横浜店	2017	ハロゲンランプ 158灯	昼間買電	17,064	k Wh	8.7	LED器具に更新	昼間買電	6,826	k Wh	3.5	5.2	(A3) 4,132 千円

連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
7	LED照明へ転換 (年間で55灯をLED化)	港南台店	2017	蛍光灯 55灯	昼間買電	22,883	kWh	11.7	LED器具に更新	昼間買電	3,366	kWh	1.7	10.0	3,058 千円
8	LED照明へ転換 (年間で998灯をLED化)	横浜店	2018	蛍光灯 874灯 ハロゲン電球 41灯 水銀灯 83灯	昼間買電	198,317	kWh	101.5	LED器具に更新	昼間買電	86,277	kWh	44.2	57.4	39,276 千円
9	LED照明へ転換 (年間で89灯をLED化)	港南台店	2018	蛍光灯 89灯	昼間買電	12,310	kWh	6.3	LED器具に更新	昼間買電	7,694	kWh	3.9	2.4	18,305 千円
															千円
															千円



細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	LED照明器具	2015年度	HIDランプ、蛍光灯、ハロゲン電球、水銀灯（計1,531灯）をLED照明へ更新	年間CO2削減量139t-CO2
2	LED照明器具	2017年度	HIDランプ、蛍光灯、ハロゲン電球（計855灯）をLED照明へ更新	年間CO2削減量75.7t-CO2
3	LED照明器具	2018年度	HIDランプ、蛍光灯、ハロゲン電球（計1,087灯）をLED照明へ更新	年間CO2削減量59.7t-CO2
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	668t-CO <sub>2</sub>	東京電力エナジーパートナー株式会社
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水資源使用量 原単位 昨対1%削減</li> <li>・包装紙等の使用量 原単位 昨対1%削減</li> <li>・ウールスーツ、コート、不要傘の期間限定改修</li> <li>・食品トレー、容器空瓶等の日常的回収の実施</li> </ul>
計画期間内に実施する対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水資源使用量 原単位 年間1.0%削減</li> <li>・包装紙等の使用量 原単位 年間1.0%削減</li> <li>・廃棄物最終処分費 原単位 年間1.0%削減</li> </ul>
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全従業員参加型の環境改善活動としての節電運動を徹底し、照明未消灯率1%以下</li> <li>・行政との連動した3R夢イベントを実施（平成28年7月、打ち水、西口ごみ0キャンペーン）</li> <li>・紙製ショッピングバック 年間1.0%削減</li> <li>・焼却ゴミと紙ゴミ、生ごみの分別の徹底によるリサイクル化（堆肥化）</li> <li>・厨房排水のクリーン化に向けたグリストラップ清掃強化</li> </ul>
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業時間外の不必要な照明点灯抑制を徹底し、閉店後照明未消灯率1%以下（継続）</li> <li>・従業員食堂食品ロス削減啓発キャンペーンの実施</li> <li>・紙製ショッピングバッグ削減（昨対3.7%減達成）</li> <li>・行政連動「3R夢」活動への参加（打ち水、西口・みなみ西口の花壇整備）</li> <li>・紙ゴミ（資源化）とその他ゴミ（焼却）の分別徹底。</li> </ul>
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市「3R夢パートナー」事業者活動への参加（食品残渣物の飼料化、オリジナルマイバッグ販売など）</li> <li>・営業時間外の不要照明の消灯徹底、消し忘れ未消灯率1%以下（毎日確認）</li> <li>・紙資料の削減などによるコピー用紙使用量の削減活動（使用量削減率2%以上）</li> <li>・従業員食堂での食べ残し・調理くずなど食品ロス削減に向け、ろすのん啓発と人事Gから周知指導</li> <li>・厨房排水のクリーン化に向けたグリストラップ清掃強化指導、厨房員を対象とした環境教育を実施</li> </ul>

14 実施状況等に対する自己評価

地球温暖化防止・社会貢献活動の一環として、横浜市「3R夢パートナー」事業者活動への参加など、早くから省エネ・廃棄物削減・3R活動を行って来ました。  
特に、環境に配慮した商品&プロモーション強化による、地域社会への貢献を目指した活動を継続しています。  
又、高島屋グループSDGs原則に基づき、あらゆる資源や環境に配慮した事業活動を通じて気候変動・環境汚染防止対策に取り組み、持続可能な消費・サービスモデルを構築して参ります。